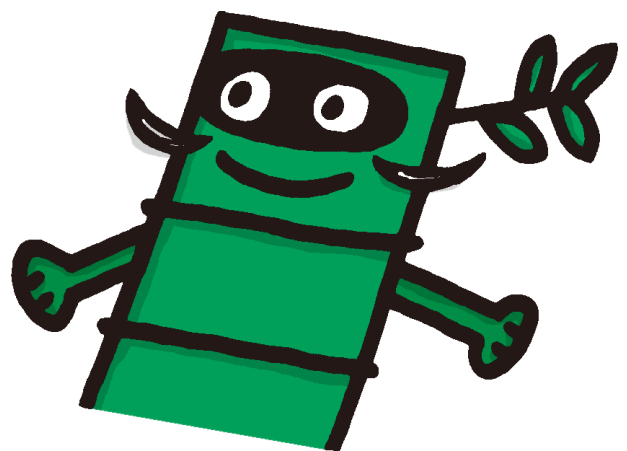
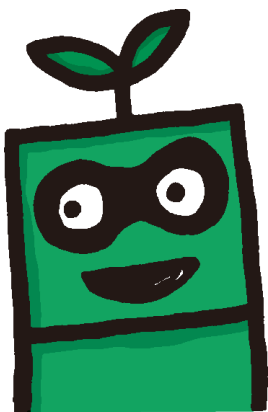


資料編



策定経過

■策定経過

年 月 日	事 項
令和 6 年 5 月 31 日	総合計画策定委員会設置
令和 6 年 6 月 10 日	第 1 回南部町総合計画策定委員会（書面開催）
令和 6 年 6 月 28 日	町民意識調査実施（18歳以上1,500人無作為抽出 令和 6 年 7 月 31 日まで）
令和 6 年 7 月 23 日	町長ヒアリング
令和 6 年 7 月 26 日	第 2 回南部町総合計画策定委員会（書面開催）
令和 6 年 8 月 1 日	第 2 次南部町総合計画実績見込み作成
令和 6 年 9 月 6 日	第 1 回総合計画審議会（委員委嘱、会長・副会長互選、部会設置、町民意識調査結果、基本構想及び基本計画について各部会で審議）
	町長が総合計画審議会へ諮問
令和 6 年 9 月 13 日	第 3 回南部町総合計画策定委員会（書面開催）
令和 6 年 10 月 7 日	第 2 回総合計画審議会（基本構想及び基本計画について各部会で審議）
令和 6 年 10 月 11 日	第 4 回南部町総合計画策定委員会（書面開催）
令和 6 年 10 月 23 日	パブリックコメント実施（令和 6 年 11 月 12 日まで）
令和 6 年 11 月 14 日	第 3 回総合計画審議会 （交代委員委嘱、基本構想及び基本計画について各部会審議）
令和 6 年 11 月 19 日	第 5 回南部町総合計画策定委員会（書面開催）
令和 6 年 11 月 25 日	総合計画審議会が町長へ答申
令和 6 年 12 月 10 日	第 3 次南部町総合計画基本構想を町議会へ上程
令和 6 年 12 月 13 日	第 3 次南部町総合計画基本構想を町議会で議決

諮問・答申

■諮問

南企発第9－1号
令和6年9月6日

南部町総合計画審議会
会長 小倉 弘規 殿

南部町長 佐野 和 広

第3次南部町総合計画に関する事項について(諮問)

南部町における総合的かつ計画的な行政の運営を図るため、第3次南部町総合計画案を策定しましたので、南部町総合計画審議会条例第2条の規定に基づき、貴審議会に意見を求めます。

■答申

令和6年11月25日

南部町長 佐野 和広 殿

南部町総合計画審議会
会長 小倉 弘規

第3次南部町総合計画案について(答申)

南部町総合計画審議会条例第2条の規定に基づき、令和6年9月6日付け南企発第9-1号で諮問のありました第3次南部町総合計画案について、当審議会において慎重に審議した結果、別添のとおり答申します。

なお、本計画の推進に当たっては、次の事項に留意するよう要望します。

要 望 事 項

- 1 本計画の適切な事業展開をするために、計画内容等について町民にわかりやすく周知するとともに、実現に向けて町民の理解と協働を求めることを要望します。
- 2 本町の課題である、人口減少・少子高齢化の進展、急速に進むデジタル化への対応や行政に対する住民ニーズ等を的確に捉え、社会情勢の変化に柔軟に対応し、計画の実現に向け取り組みを推進していくことを要望します。
- 3 行政の効率化を目指すうえで、デジタル化を推進する必要があると考えますが、デジタル化によって行政サービスから取り残される町民が出ないように配慮していただき、すべての町民にとって利用しやすいデジタル化を推進するよう要望します。
- 4 本計画の実効性を担保するため、個々の事務事業や施策の評価を適切に行い、行政の効率化を図りつつ、計画の進捗管理に努めることを要望します。
- 5 基本構想における未来の姿の実現に向け本計画を推進し、だれもが住みやすい町となることを要望します。

委員名簿・組織

■第3次南部町総合計画審議会委員名簿

	氏名	総合計画部会	総合戦略班	備考
1	仲亀 佳定	郷土愛を持つ人づくり	南部町とつながり、ひとの流れを呼び込む	令和6年10月31日まで
2	遠藤 高芳	安心して暮らせる町づくり	安心して暮らすことが可能な、魅力的な地域をつくる	令和6年10月31日まで
3	早川 高志	安心して暮らせる町づくり	安心して暮らすことが可能な、魅力的な地域をつくる	
4	望月 研	安心して暮らせる町づくり	安心して暮らすことが可能な、魅力的な地域をつくる	
5	望月 悟	郷土愛を持つ人づくり	南部町とつながり、ひとの流れを呼び込む	
6	近藤 正寛	郷土愛を持つ人づくり	南部町とつながり、ひとの流れを呼び込む	
7	原田 敦子	郷土愛を持つ人づくり	南部町とつながり、ひとの流れを呼び込む	
8	小倉 弘規	やさしさを育み生きがいを持てるコミュニティづくり	結婚・出産・子育ての希望を増やし、切れ目なく支援する	
9	志村あずま	資源活用と交流による魅力づくり	良質な雇用環境を創出し、安心して働けるようにする	
10	佐野 浩道	資源活用と交流による魅力づくり	良質な雇用環境を創出し、安心して働けるようにする	
11	村松 良太	資源活用と交流による魅力づくり	良質な雇用環境を創出し、安心して働けるようにする	
12	若林 澄江	やさしさを育み生きがいを持てるコミュニティづくり	結婚・出産・子育ての希望を増やし、切れ目なく支援する	
13	久保田美穂	郷土愛を持つ人づくり	南部町とつながり、ひとの流れを呼び込む	
14	山井 雄一	資源活用と交流による魅力づくり	良質な雇用環境を創出し、安心して働けるようにする	令和6年10月31日まで
15	原田 綾香	やさしさを育み生きがいを持てるコミュニティづくり	結婚・出産・子育ての希望を増やし、切れ目なく支援する	
16	水上美枝子	やさしさを育み生きがいを持てるコミュニティづくり	結婚・出産・子育ての希望を増やし、切れ目なく支援する	
17	市川 高人	資源活用と交流による魅力づくり	良質な雇用環境を創出し、安心して働けるようにする	
18	望月 由美	やさしさを育み生きがいを持てるコミュニティづくり	結婚・出産・子育ての希望を増やし、切れ目なく支援する	
19	石井 学	安心して暮らせる町づくり	安心して暮らすことが可能な、魅力的な地域をつくる	
20	芦澤潤一郎	郷土愛を持つ人づくり	南部町とつながり、ひとの流れを呼び込む	令和6年11月14日から
21	望月小五郎	安心して暮らせる町づくり	安心して暮らすことが可能な、魅力的な地域をつくる	令和6年11月14日から
22	内田 雄士	資源活用と交流による魅力づくり	良質な雇用環境を創出し、安心して働けるようにする	令和6年11月14日から

用語説明

※DM

Direct Mailの略で、特定の対象者に対して直接に配信される広告や情報提供の手段を指します。

※DX

Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）の略で、デジタル技術を活用してビジネスや社会のさまざまな側面を根本的に変革することを指します。具体的には、情報技術（IT）を用いて業務の効率化や新たな価値の創出を図ることを目指します。

※EBPM

Evidence-based Policy Makingの略で、証拠に基づく政策立案のことです。政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化した上で合理的根拠（エビデンス）に基づくものとするものです。

※GIGAスクール構想

Global and Innovation Gateway for All の略で、日本における教育改革の一環として、すべての児童・生徒にICT（情報通信技術）を活用した教育環境を提供するための取り組みです。全ての学び手に世界へとつながる革新的な教育の場を提供するという理念を表しています。

※ICT

Information and Communication Technology（情報通信技術）の略で、コンピュータ技術（情報技術、IT）と通信技術を組み合わせた総合的な技術のことを指します。メールやチャット、ネット検索などの通信技術を使って人とインターネット、または人と人がつながることです。

※IT

Information Technology（情報技術）の略で、コンピュータや通信機器を利用して情報の生成、管理、保存、伝送、利用を行う技術の総称です。

※ITリテラシー

パソコンなどのIT機器を使いこなす能力や、インターネットを用いて情報を収集する検索能力のことです。

※Instagram公式アカウントフォロワー

企業、ブランド、有名人、団体などが運営するInstagramの公式アカウントをフォローしているユーザーのことを指します。これらのフォロワーは、アカウントの投稿内容を定期的に見ることができ、それに応じてアカウントと相互に関わることができます。

※PDCAサイクル

業務の継続的改善を実現するための管理手法で、「Plan（計画）」「Do（実行）」「Check（確認）」「Act（改善）」の4つのステップを繰り返すことで、プロセスや業務の品質を向上させることを目指します。

※SNS

Social Networking Service（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の略で、人々がインターネットを通じてつながり、コミュニケーションや情報の共有を行うためのオンラインプラットフォームです。SNSは、ユーザーが友人や家族、同僚、または共通の興味を持つ他の人々とつながることを目的としており、情報の共有やコミュニケーションの手段として広く利用されています。

※SOHO

Small Office/Home Officeの略で、小規模なオフィスまたは自宅を拠点とした仕事形態を指します。一般に、1人から数人の従業員で運営される企業やフリーランスの働き方を意味し、インターネットや情報通信技術の発展により、場所に縛られずに業務を行うことが可能となった働き方です。

※Well-being指標

デジタル田園都市国家構想では地域幸福度指標としており、「共通指標」として広く活用することで、それぞれの事業が目指す街づくりの目的や取り組みについて、市民や事業者など様々な関係者が、その共通目標に向けて協力することが可能となります。

あ

※空き家バンク

増加する空き家を有効活用するために、不動産の空き家情報を提供し、購入・賃貸を希望する人々とのマッチングを行うサービスやシステムのことを指します。主に自治体や民間団体が運営しており、空き家の所有者と利用希望者の間をつなぐことで、地方の過疎化対策や地域活性化を図ることを目的としています。

※イノベーション

新しいアイデア、技術、製品、サービス、またはプロセスを創造し、それを実際に導入することで大きな価値を生み出し、社会や経済に変革をもたらす行為やプロセスを指します。

※エンパワーメント

人々が自己の力を発揮し、自立して意思決定を行い、その決定に基づいて行動する能力を持つように支援するプロセスや状態を指します。

か

※関係人口

特定の地域に常住している「定住人口」や観光・仕事等で一時的に訪れる「交流人口」とは異なり、その地域に定期的・継続的に関わりを持つ人々のことを指します。関係人口は、地域の発展や活性化に重要な役割を果たすとされ、近年注目を集めています。

※機能別消防団員

ライフスタイルや職業に合わせて特定の時間帯や役割に限定して参加できる仕組みを提供することで、より多くの人々が参加しやすくすることを目的とした制度です。

※キャッシュレス決済

現金を使用せずに、電子的な方法で代金の支払いや送金を行う仕組みのことを指します。

※合計特殊出生率

ある国や地域の女性が一生の間に生む子どもの平均数を示す統計指標です。この指標は、女性（15歳から49歳）の年齢別出生率を合計することで計算されます。

※交流人口

特定の地域に期間限定で訪れ、その地元の人々や文化、自然と接触・交流する人々のことを指します。これは観光やビジネス、学術、文化交流、イベント参加などを通じて、一時的にその地域に滞在する人々を含みます。定住している「定住人口」や定期的に関わる「関係人口」とは異なり、交流人口は一時的な滞在を通じて地域とのつながりを持ちます。

※コミュニティスクール

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みのことです。

さ

※サテライトオフィス

企業の本社（本部）や主要オフィスから離れた場所に設置された小規模なオフィスのことを指します。

※冗長化

機器やシステムの構成要素について、同じ機能や役割の要素をあらかじめ複数用意しておき、異常が発生したときに肩代わりできるように待機させておくことです。

※森林環境譲与税

日本において、森林の整備や保全活動を推進するために導入された税制度です。この税は、国が徴収した財源を基に、地方自治体へ譲与する形式で資金を提供し、地域ごとの森林環境保全活動を支援します。

※スマイルなんぶクラブ

自分自身が元気で健康的な生活を送り、周りの人にも元気のお裾分けをして、健康で明るい元気な南部町民を増やすことを目的に活動するクラブのことです。

た

※タウンプロモーション

地域や町の魅力を広く発信し、観光客や居住者、ビジネスを引きつけるための活動や戦略を指します。この活動によって地域の知名度を向上させ、経済的・社会的な発展を促進することを目的としています。

※地域包括ケアシステム

高齢者や障がい者を含むすべての人々が住み慣れた地域で、自立した生活が続けられるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援などのサービスを一体的に提供するシステムです。

※デジタル田園都市国家構想

日本政府が推進する地方創生とデジタル化を融合させた戦略の一環であり、都市と農村の区別をなくし、日本全体を均衡ある発展を目指す取り組みです。この構想は、地域の課題をデジタル技術によって解決し、地方の魅力を高めることで、各地の経済や社会を活性化することを目的としています。

※デマンドバス

利用者の需要に応じて運行するタイプの公共交通サービスです。固定された時刻表やルートに従う従来のバスとは異なり、利用者の予約やリクエストに基づいて柔軟に運行ルートや運行時間を設定します。デマンドバスは、特に交通機関が少ない地域や高齢者が多い地域などで有効な手段として注目されています。

な

※なんぶ健康会議

平成26年4月に発足した、食生活改善推進委員、愛育会、南部町役場内の4課（医療センター、住民課、生涯学習課、福祉保健課）で構成された健康づくりに関する検討委員会です。さらに、運動部会、食生活部会、医療部会に分かれ、それぞれ町民主役の健康づくりを目指す活動を展開しています。

※ノーマライゼーション

障害がある人もない人も、すべての人々が互いに支え合い、地域で生き生きと明るく豊かに暮らしていける社会を目指す考え方のことです。

は

※バイオマス

再生可能な生物由来の有機資源のことを指します。

※パブリックコメント

重要な政策形成過程での素案の公表と町民からの意見募集、行政側の回答など一連の手続きを指します。

※ファミリーサポートセンター

地域社会で子育てを支援するための組織や施設のことを指します。子育て中の家庭が地域の支援を受けながら、安心して子育てができるように様々なサービスを提供します。具体的には、一時保育や育児相談、情報提供、親子イベントなどを通じて、親や保育者の負担を軽減し、育児に関する不安や悩みをサポートします。

※ブルーライン

自転車専用の通行帯や自転車が優先的に通行できるルートを示すために道路上に引かれた青色の線や塗装のことを指します。この取り組みは、自転車利用者と歩行者、自動車との間での交通の安全性とスムーズな移動を促進するために行われています。自転車を利用する際には、これらのブルーラインを活用することで、より安全で快適な移動が可能となります。

ま

※マイクロプラスチック

直径が5ミリメートル未満の非常に小さなプラスチックの粒子のことを指します。環境と生態系、人間の健康に対する潜在的なリスクを持つ重要な環境問題です。

※万沢集学校

旧万沢小学校を利活用した「おかえり集学校」が運営するＩＴ交流拠点施設です。

ら

※ライドシェア

自家用車を利用して他の人々と乗り合いを行うサービスやシステムを指します。これは交通手段の一形態で、特に効率的な移動とコストの削減を目的として広く利用されています。

※ロードマップ

プロジェクトマネジメントにおいて使用され、プロジェクトの全体像を図解化して、プロジェクトの開始から完了までの道筋をチームに示すための地図や工程表のことです。

※ローリング方式

長期の計画を実行する際に、状況の変化に対応するため、定期的に計画の見直しをして更新し実行していくことです。

※6次産業化

一次産業（農業・漁業・林業）を基盤に、二次産業（製造業・加工業）や三次産業（サービス業・流通業）と組み合わせることで、農林水産物の付加価値を高め、地域経済の活性化を図る取り組みを指します。

第3次南部町総合計画

発行日：令和7（2025）年3月

発行：山梨県南部町

策定担当：山梨県南部町企画課

〒409-2192

山梨県南巨摩郡南部町福士 28505 番地 2

TEL 0556-66-2111

策定支援：株式会社サーベイリサーチセンター

